令和6年第5回産業建設常任委員会 要点記録														
リベル・カンド・大性以中に女具式・女宗心学														
開閉会日時		令和6年6月26日(水岡			/明□\	開会	13:2	.5			別海町議会			
					唯口)	閉会	14:4	3			委員会室2・3			
委員の出欠		4 番	伊勢	徹	出席	5 番	貞宗	拓雄	出席	7 番	横田	保江	出席	
		11 番	今西	和雄	出席	12 番	松原	政勝	出席					
		産業振興部長			産業振興部次長		農政課長		商工観	光課長				
	産業	佐々木	栄典	出席	小野	武史	出席	皆川	学	出席	掘込	美穂	出席	
		水産みどり課技術主幹			商工観光課主幹		農政課主査			農政課	主査			
	振興部	古里	達也	欠席	上杉	大洋	出席	金澤	亮太	欠席	山下	真弘	出席	
		農政課主査			水産みどり課主査		水産みどり課主査		商工観光課主査					
出		西郷	博之	欠席	岩光	信幸	出席	池田	友和	欠席	松本	芳樹	出席	
席	建設水道部	建設水道部長			建設水道部次長				建築住宅課長					
説			昭博	出席	新堀	光行	出席	田畑	直樹	出席	廣島	静治	出席	
明		事業課長			上下水道課技術長		管理課主幹		建築住	宅課主韓	_			
員			和仁	出席	袴田	充輝	出席	入田	浩明	出席	篠田	敬介	出席	
		事業課主幹			事業課主幹		上下水道課主幹		上下水	道課主韓	全			
		.,,,,	陽司	出席	板垣	正博	出席	西田	和弘	欠席	植松	拓也	欠席	
		管理課主査			建築住宅課主査		建築住宅課主査				I			
		大滝	•••	欠席	伊井	崇史	出席		正勝	出席				
	農業	農業委員			農業委	員会主幹			員会主韓					
	委員会	川畑	智明	欠席	大山	晋作	欠席	成瀬	広子	欠席				
委員外の出席							1 1 - 1 1		合			名 ·		
事務局職員					干場 富夫		主幹		木幡 友哉 合					
傍聴者数		議員		8名		報道関係者		0名		合	合計		8名	

	令和6年第5回産業建設常任委員会 要点記録					
会議に付した事件及び会議結果など						
	発言者		会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。			
委員長	11番	今西	13:25 開会			
			出席委員5名、欠席委員0名、委員外0名、会期1日			
			【建設水道部所管事務調査】			
委員長	11番	今西	挨拶			
建設水道	部長	外石	挨拶			
			┫ ■ 今定例会における委員会負託事件及び調査事件はないが、定例会に上程している議案			
			について質問があれば受け付ける。			
委員長	11番	今西	・何かあるか。			
委員	<u> </u>	<u> </u>	」			
委員長	11番		13:27 建設水道部終了 休憩			
委員長	11番		13:33 再開			
女貝区	11.1	<u> </u>	【			
<b>未早</b> 目	11平	<b>△</b> 亜	4			
委員長	11番		挨拶			
産業振興		佐々木				
委員長	11番	今西	議事1 所管事務調査について			
			(1) ふるさと交流館について			
			・これまでの経過と今定例会に計上した補正予算について改めて説明願う。			
商工観光	課主査	松本	・昨年度、町内関係部局が連携し、別海町ふるさと交流館庁内検討会議を設置、令			
			和5年10月13日に第1回会議を実施している。			
			・施設利用者90名からアンケートを徴し、存続を強く求める声や入浴以外のサービスに			
			対する意見があった。			
			・アンケート後、令和6年3月18日に2回目の庁内検討会議を開催し、今後の方向性			
			として、設備改修等により入浴の継続を図るとともに、レストランや宿泊の再開に向けて			
			検討を進めることを確認し、この結果を検討会議の総意として理事者に報告している。			
			・源泉井戸から施設まで距離があること、ポンプの消耗が激しいこと、泉温が低いことから			
			燃料費がかさんでいるため、新源泉の掘削を含む温泉設備の改修を行いたい。また、施			
			設建設から30年以上経過していることから、建物のコンクリート強度調査等を実施した			
			ι, ν, ο			
			・並行して、町内外の憩いや交流の拠点としてまちづくりに寄与するため、周辺一帯の			
			整備構想や運用構想も検討していきたい。			
			・掘削丁事に係るスケジュールについて、スムーズに事務処理を進められた場合、8月後			
			半の入札後、仮契約を行い9月定例会で議会の議決を経て本契約となる。			
			温泉掘削には北海道の許可が必要となり、11下旬から12月上旬に開催される北海			
			道環境審議会温泉部会で審議された後、半月ほどで許可の認否が出される予定であ			
			り、許可取得後の1月中に掘削を開始する。			
			掘削期間は6か月を見込んでおり、令和7年6月末までに完了する予定。			
			・掘削工事の中で温泉分析やガス分析も行う。			
			・温泉くみ上げのための動力装置の設置も北海道の許可がいることから、掘削工事と同業には大きには大きには、大きには大きには、大きないでは、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これには、これに			
			様に北海道環境審議会温泉部会に諮ることとなる。掘削工事完了後、必要な設備			
	_	^ -	の予算計上を行い、工事を実施することとなる。			
委員長	11番	<u>今西</u>	・以前町営に移管した時の町の考え方を再度話していただきたい。			
商工観光	課長	掘込	・ふるさと交流館は、町民に憩いの場を提供し、福祉の向上と健康の増進を図るととも			
			に、他市町村との交流を深め、明るく豊かな郷土づくりに寄与するために平成3年に開			
			三川 ナンス			

設している。

平成3年の開設から平成17年度までは、第三セクターの株式会社別海振興公社へ 業務を委託しており、その後、平成18年度から同社へ指定管理をお願いして運営を継 続している。

赤字が続いていたことから、平成20年11月25日から12月25日の間、町内に限定 して売却することとして公募を行ったが、売却には至らなかった。

平成21年5月1日に、今後は賃貸借をすることで再度公募を行い、株式会社郊楽 苑と町有財産賃貸借契約を締結し平成26年3月31日まで運営を行ってきた。

平成25年8月に、契約満了となる平成26年4月以降の施設の在り方について検討 するため、旧別海町交流センター検討委員会を組織した。

検討委員会の中で協議を重ね、平成26年10月に検討委員会から報告書が提出さ れ、運営方法等については、意見の集約や結論に至らず、複数意見としての報告とは なったが、施設存続の必要性については、検討委員会の総意として報告となっている。

その後、平成26年8月4日から9月3日までの間、指定管理方式により運営すること として、公募を行った結果、株式会社郊楽苑が指定管理者として選定され、平成26 年10月15日から令和3年3月31日まで、指定管理者として運営を行っている。

令和2年度には、この施設存続を含めた、住民アンケート、住民の意見を聴く会を実 施、さらには議会からも意見を徴取する機会を設け、指定管理終了までに検討を行っ てきた。

その結果、先ほども話したとおり、今後も入浴については継続していくが、宿泊やレスト ランについては一度立ち止まって施設の在り方等について、検討を行うこととなっている。 その後、令和3年4月から5月までに準備期間を設け、令和3年度に町直営としての 営業を再開して現在に至っている。

委員長 11番 今西 委員 12番 松原

#### 商工観光課長 掘込

<b>安</b> 貝	12番	松原
商工観光詞	果長	掘込
委員	4番	伊勢
産業振興部	祁長	佐々木
委員長	11番	今西
委員長	11番	今西
委員長	11番	今西
委員	4番	伊勢

1 7 平

産業振興部長 佐々木

#### 質疑

- ・これらの経緯を踏まえて質疑あるか。
- ・昨日の予算決算審査特別委員会でも説明があったが、掘削工事について、業者の 選定や、何者から見積を取ったかなど、もう少し詳しく教えてほしい。
- ・町で積算を行うに当たっては、温泉掘削工事の内容を知る必要があったので、町の指 名業者であり、管内や道内で掘削工事の実績を持っている事業者1社から参考見積 りを徴し、掘削工事とはどのような工事内容なのか、どういった費用を積み上げる必要が あるのかなどを確認した。

その内容、例えば工事に必要な職種であったり、車両であったりを、資料を基に確認 し、それに国が示す公共工事の労務単価等を当てはめて、町で再計算を行い、出した 内容が今回の予算の根拠となっている。

- ・町の指名業者というのは温泉掘削を専門に行う業者なのか、それとも町内の建設業 者なのか。
- ・温泉掘削工事を実際に行っている専門業者。
- 業者の名前を公表できるか。
- ・この場で公表しても問題ないか。
- (入札に影響する可能性があるので)伏せてもらってかまわない。
- 13:52 暫時休憩
- 13:53 再開
- ・民間でやっている方の意見を総合すると、この予算規模にはならない。労務単価を掛 けて2億円に積みあがりました、これで入札にかけますとなっても(民間から聞取りした 額と)金額の隔たりが大きいので、このまま進めていいのか疑問。
- ・見積を徴した業者にそのまま行くのではないかという懸念の話かと思うが、町の流れで いうと、予算を組むための設計を行うが、今回はそのための参考見積を徴した。

町に業者登録をしており、掘削実績のある業者から参考見積を徴している。 それを基に道が示す歩掛や労務費を使って町で積算し工事費を出している。

その後、指名選考や入札があって初めて業者が決定する。

なので、参考見積を徴した業者に当たるかもしれないが、別の業者に当たるかもしれない。そこは入札なので。

そういった仕組みがあるので、公共事業については、道の示す単価を使用する必要があるなど、民間でやるよりも高くなるというのは事実。

そういった流れがあることだけは御理解いただきたい。

・水産関係の廃棄物の時もまったく同じ議論だったが、民間側も相手が町と民間では単価が倍も変わる。

今回も世間相場からかけ離れた金額が出てきていて、民間の人間からしてみたら信じられない。

・確かに民間と比べると、言葉は悪いかもしれないが、民間であれば金額を落とすことはできるかもしれない。

だが、町の公共事業であり、基本となる設計は全国で決まっているので、設計を組む時にもう少し安くていいのではないかといったことにはならない。

今回の掘削であっても道路工事であっても同じ仕組みで設計をするので、それが納得 いかないと言われても、そこは理解していただくしかないと思います。

- ・掘削工事は特殊だが、別海町の中に、今の指名業者の中にその資格を持った業者はいるのか。
- ・温泉を専門的に掘削する指名業者は(見積を徴した)1社だけである。この業者は全道的に掘削実績があることから参考見積をいただいた。
- ・別海町の中に温泉を専門に掘る業者があって、そこから見積を取ったのか。または、建設業者を介して見積を取ったのか。
- ・登録指名業者というのは町内に限ったものではなく、町外、道外の業者も申請すれば 登録することが可能。

今回見積を徴したのは町外の業者で、指名業者の中に温泉掘削を専門に行っている 業者はこの1社のみだったことから同社に依頼した。

- ・直接見積を徴したということでいいか。
- ・そのとおり。
- ・約2億円に対して、単純に言えばお金を借りることと同じなので、銀行から借りるときは 5年先、10年先の事業計画を組んでそれを見ながら協議するが、役場の場合はそういう 必要はないのか。

また、掘削工事に関する話が進んでいたのなら、事前にこの委員会に報告すべきだったのでは。

・6月14日の第4回委員会でふるさと交流館の所管事務調査の時に、現状の課題と今後の取組を説明させていただき、その際に、浴場を安定的に維持継続するために新源泉の掘削を行いたいと説明して、併せて6月の補正予算計上を予定していますということまで説明させていただいた。

その際に、なぜ細かい説明をしなかったのかというと、予算の審議となると、予算決算審査特別委員会で行うことになるが、その前に、予算関係を事前に説明することで、 事前審査に当たると考えた。

予算の審査があるのにその前に委員会で事前に審査してしまうのがいいのかどうかというのは、議会の考え方になると思うが、予算決算審査特別委員会で議論していただいたほうが普通かと判断した。

このことから、以前の経過と進め方、6月補正予算に計上させていただきますというこ

委員 4番 伊勢

産業振興部長 佐々木

委員 5番 貞宗

産業振興部長 佐々木

委員 5番 貞宗

商工観光課長掘込

委員5番 貞宗商工観光課長掘込委員5番 貞宗

産業振興部長 佐々木

令和6年第5回産業建設常任委員会	田上司妇
<b>力利10年第31211年美建設吊行安目元</b>	安只記球

		令
委員長	11番	今西
委員長	11番	
委員	5番	貞宗
産業振興部	張	佐々木
委員	5番	貞宗
<b>★₩</b> ₩₩	, <del>-</del>	<i>t</i> - <i>t</i> - 1
産業振興部	<b>長</b>	佐々木

委員

産業振興部長

5番

貞宗

佐々木

とだけを説明させていただいたところ。

14:04 暫時休憩

14:05 再開

- 事業計画についてはどうなっているか。
- ・ふるさと交流館の整備をするときに、当初予算でも考えはしたが、内部でも議論し協議した中で、6月補正予算となったところだが、当初予算を計上する場合でも、町が事業実施するには事業計画を組む。

それは10か年の計画であり、総合計画の事業版として作成している。

当初にはならなかったので、6月の事業計画ということで、補正用の事業計画を組んでいる。

あくまでもスパンは10年だが、今回の事業計画に当たっては、これまでも説明しているとおり、今回のボーリングの関係と躯体調査分の事業計画を上げた中での予算計上となっている。

・事業計画は、あくまでもこの2億円を使うために、このような状況になりますという試算をして、結論が出たと思うが。

この先の事業計画、これをやったらこれだけの利益が上がるとか、これだけの使用料が 入りますとか、役場の場合はそういう計算まではしないのか。

一般的に農協にしても、銀行係にしても、事業計画組んで採算合わなかったら資金を貸してくれない。

町だったら、税金を使うので別にそういうのは関係ないのか、その辺を聞かせていただき たい。

・収入や支出の関係で、費用対効果も含めて、ヒアリングの中でも、当然、財政部門や総合計画の部門と審査した中で、今回の計上に至った経過にある。

施設を作るとなると当然黒字を目的にやらなければならないとと思う。

ただ、一方で、この施設は、建設当時、福祉の向上であるだとか、いろんなことを含めて建設した施設なので、福祉的な役割を持っていると思う。

そう考えれば、多少町が負担しなければならない部分はあるとは考えている。

ただそれが、余りに多額の費用、赤字を抱えると難しいが、黒字に近づけるように計画しながら進めていかなければならないとは思う。

・去年で約4万人に利用されて、そこで赤字が2,000万円ぐらい出ている。

それを町が負担しており、利用はされてるが収入がない。

毎年赤字だったら、2億円かけようが3億円かけるようが逆に手出しが多くなるのではないか。

その対策として、こういうことをやって、これだけのお金を何とかする、というなら分かるが、ただ町が補填すれば何とかなるということでいいのかと私は思うが。

・今回のふるさと交流館に関しては、昨日、今回と説明させていただいているが、今の源泉については、いつ汲み上げがストップしてしまうかもわからないという指摘を受けた中で、今回のボーリングに至っており、かつ、場所的に今は野球場のほうに源泉があって、そこから汲み上げてふるさと交流館の中に引っ張っている。

当初は、温度が42、3度ぐらいだったが、(ポンプの)芯がずれたり、砂がかぶったりして直したとき、汲み上げ温度が低くなったり、さらにそこから施設に汲み上げる時に際しても、さらに温度が低くなって、今は加温してる状態であるということは、委員会中でも説明したかと思うが、その加温に対して当然重油を買っており、年間1,500万円ぐらいのランニングコストがかかっていることから、それをずっとそのままにしていていいのかということがある。先に言ったように、過去の経緯を踏まえて、今の場所で浴場施設を存続するとなった

ときに、そのままのランニングコストでいいのか、あるいは源泉が止まった場合、そのままでい

いのかということを考えると、確かにイニシャルコストに2億円という額がかかってしまうかもしれないが、そのあとに、維持管理費が下がるというのは、ほぼ間違いないと思っている。

そのスパンがもしかしたら10年20年かかるかもしれないが、同時に入浴者も徐々にではあるが今増えてる状況にあることからも、今後の管理も含めて、やはり源泉を新しく掘る必要はあるかと考えている。

・ふるさと交流館の目的は皆さん認識してると思う。

だから、今ボーリングをして、温泉をもう1回上げて、これからまだ維持していかなければならないというこの考え方はみんな持ってると思う。

源泉を新しく汲み上げることについての、我々が理解のできるような参考見積の取り方だとか、指定されている業者があるからそこで計算した見積りを出したっていうことでなく、もっといろんな方向から考えて、交渉したほうがよかったのではないかと思うし、建物は今簡単に動かせないので、源泉を掘る場所をどこにするのか、何をどう建てるのか、そういうことも含めて、構想みたいものを話していただければ分かりやすい思うが、いかがか。

・金額については、先ほどから説明してきた以上のことはないので難しいが、場所については、今の現状でいくと、2段階になってるような感じであり、やはり施設の近くに源泉を掘りたいという構想。

そういったことも含めての設計を考えているので、今みたいな、離れた場所にボーリングするようなことは考えていない。

14:17 暫時休憩

14:17 再開

・今の建物の付近に掘るとなれば、建物は数十年経っていることから、建物の見直しもあるかもしれない。

2回の検討委員会において、掘削場所はここでいいのかという話は出なかったのか。

- ・検討委員会の中でも、委員の皆様から様々な意見を受けているが、基本的には検討委員会としては、今の場所での施設の運営を存続するということを総意として確認している。
- ・そのときに建物をどうするのだという意見も出ただろうと思う。

補修するとか、建替えをしなければ駄目だとか、検討委員会の中で建物についての話はどうだったか。

・検討委員会や利用者アンケート等の中でも、レストランや宿泊といった機能があるといいという回答も受けている。

ただ、そこに関しては、今早急に入浴やレストランをもう1回再開しよう、改修しようということではなく、検討委員会の中で、再開も視野に入れた検討を進めていくという方向性を確認している。

そこについては、常任委員会等でも説明させていただいたとおり、今後ふるさとの森や キャンプ場など、周辺にいろいろ施設があるので、一体的にゾーンとして見る中で、ふるさ と交流館にレストランが必要なのか、宿泊施設が必要なのか、必要な場合にはどういっ た改修をしたらいいのかというところを検討していきたい。

- ・説明のあったアンケートは利用してる90名の方からだが、これは使ってる人だけのものではないので、全体的にアンケートを取る気持ちはあるか。
- ・予算決算審査特別委員会においても、議員の皆様からいろいろな意見をいただいた中で、議員の皆様の意見であったり、あるいは利用者もしくはそれ以外の町内外の方々の意見を聴取するということは当然必要なものであるし、その辺りでまだ至らないところが多かったというところは反省している。

それを受け、これからゾーニングをしていくに当たっては、どういったものがあったらうれしいのかや、本当にレストランや宿泊を必要としているのか等々について、さらに意見を集約

委員 12番 松原

産業振興部長 佐々木

委員長11番今西委員長11番今西委員5番貞宗

商工観光課長掘込

委員 5番 貞宗

商工観光課長掘込

委員 5番 貞宗

商工観光課長 掘込

委員 5番 貞宗

産業振興部長 佐々木

委員 12番 松原

委員長 11番 今西

産業振興部長 佐々木

委員長11番今西委員長11番今西委員長11番今西

産業振興部長 佐々木

していく必要があると思っているので、アンケートについても今後検討していきたいと思っている。

・広報を活用するなどし、アンケートは早急にやってほしいと思う。

別海市街に入浴施設がないこともあり、(施設を続けることには)前向きであるので、 町民の皆さんに理解してもらえるような手順で進めてほしい。

・町民の意見に関してはそのとおりだと思う。

その手法については、広報べつかいでという話があったが、どういったものがいいのか改めて協議させていただきたい。

昨日の予算決算審査特別委員会の中でも、副町長が、よく町民の意見を聞かなければならないということでアンケートが必要であるということを言っているし、その前段でも、町長も、反対する意見も含めいろんな意見を聞かなければならないというのは、常日頃言っているので、そういったことを含めて、どういった手法がいいのかを詰めさせていただきたい。

・意見はいろいろあると思うが、この委員会でも今まで何回かにわたって、ふるさと交流館 の大事さというか、必要性を議論してきたはずである。

今ここで、まず最初にやる事業は源泉掘削だと思う。

別海市街で宿泊したい人、食事したい人も、だんだん場所が少なくなっている。 やはり、町が持っているこの施設をきちっと整備しなければ。

宿泊や食事ができる施設は必要なので、採算性の問題もあるかもしれないが、町民のためにこのふるさと交流館がどう必要かということを庁舎内でも議論してほしいと思う。

・今までの経緯の中で、何度かこの施設が必要かどうかという議論をしてきて、その都度、 町民の声を聞いたりして存続していくべきだというその基本に則って、今の状況があると 自分は理解している。

そして先ほども皆さん言っているように、この施設は必要なんだという意識は共通に持っている。

なので、過去にあったように、経営の仕方等の課題を踏まえて、今回のようにある程度 大きな予算を立てたときに、しっかりと説明して、理解を得る時間をたくさん持って欲しい というのが、先ほどからの意見だと思っている。

まだ発表できないということは当然あるのは分かるが、姿勢であるとか、検討委員会を何度か開かれてるとか、そういう一つ一つの方向性を、都度、町民や議会に伝えてほしいと考える。

委員からは細かい話もあるが、総体的にはそこだと思う。

いかに議会が理解していくかということにつながるその部分が、少し食い違いになってるというか、伝え方、あるいは受け止め方の相違があると思うので、これからの中で都度しっかりと委員会にも議会にも伝えていただきたい、そして町民にも伝えていただきたい。

しっかり伝えた上で、町民の声もしっかり聞いて進めていただきたいと思う。

・いろんな御意見御指摘いただき、委員長もおっしゃったように、今後、どのように進めるかというのは大事なことだと思うし、今後、例えばゾーニングの関係なども含めて、これからも所管事務調査の中でも逐次説明させていただいて、併せて、町民の方の意見も踏まえてどういった方向がいいかというのは、庁内検討委員会の流れも含めて、委員会に説明させていただき、例えばこの常任委員会だけではなくという話になれば、全員協議会でも説明させていただきたいと思うので、引き続きよろしくお願いしたい。

14:33 暫時休憩

14:33 再開

議事2 その他

- (2) 産業の動向について
- ・資料により説明。

令和6年第5回產業建設常任委員会 要点記録						
委員長	11番	今西	・何かあるか。			
委員		一同	・なし。			
委員長	11番	今西	閉会挨拶			
委員長	11番	今西	14:43 閉会			